(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和4年5月31日　　企業・団体名：山本でんき有限会社

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		出自や経験によらない採用を行い、労働時の問題に対応できる相談体制を設けています。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		どのような行為がハラスメントになるか、社員に教育を行い、各自の意識を共有しています。 弊社の就業規則にもハラスメント防止の条項を設けています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		1か月に6日間以上の休日を設け、有給休暇も適切に取得できるようにしています。								8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		【予定】高知県幡多地域における外国人の技能実習生の雇用状況について学習し、今後外国人労働者と共に業務を行う機会に備える予定です。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		施工現場毎に新規入場者教育を行い、想定される事故を防ぐように取り組んでいます。 弊社の業務と関連する労働災害についての情報を適宜作業員に通知し、必要な場合は全作業員を伴う安全教育を実施しています。			3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		社員の精神状態に常に気を配り、繁忙期は働き方に問題がないか特に注意しています。 適度な休暇も取得できるよう、スケジュール管理を行っています。			3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		社員それぞれが、各自の特性や経験を生かして業務を行っています。 様々なバックグラウンドを持つ人々が社会生活を送っていることを念頭に置いて、丁寧に業務を実施しています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		業務上で必要になると見込まれる資格取得のための受験や、見地を広げられる講習会や研修会への参加を従業員に推奨しています。				4	5.5			8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		業務内容に応じた賃金を適正に支払い、従業員のスキルアップに応じて昇給も実施しています。					5.5			8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	簡易的な健康診断として社内に血圧計を設置し、適時従業員が測定できるようにしています。 体調不良の場合は早めに休暇を取るように従業員に促しています。			3					8								
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	新型コロナウイルス対策として、外出先から帰社時のアルコール消毒、うがい、手洗いの徹底、事務室の机にアクリルスタンドの設置をしています。 東京や大阪など遠方の企業との打ち合わせではWebミーティングを実施しています。			3					8	9.1		11	12				
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	書面のみの資料の電子データ化(会社外で作成された工事請負契約書、会社の過去の工事内容と売り上げ記録等)、納税証明書取得手続きのオンライン化(e-TAX)等を行っています。								8	9.1		11	12				
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		弊社敷地内に産業廃棄物(金属類、廃プラスチック類)及び一般廃棄物の保管場所を構えており、適正処分に努めています。 エコアクション21を取得し、廃棄物の削減にも取り組んでいます。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		太陽光パネルを会社事務所に設置する、事務所の照明をLEDにする、事務所の床に断熱材を貼る等の取り組みにより電力消費量削減に努めています。 ハイブリッド車の社用車を購入し、燃料消費量の削減に努めています。 2021年1月から12月の弊社事業活動による電力使用量は4,083kWh、燃料使用量はガソリンが2,594リットル、軽油1,777リットルとなっています。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		電力消費量及び燃料消費量を削減していくと共に、エコアクション21の取り組みとして竹炭の農地施用による炭素固定を行っています。 2021年1月から12月の弊社事業活動による温室効果ガス排出量は、13,329kg-CO2となっています。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		有害化学物質を取り扱う際は、適正な装置と手順により管理を行っています。弊社では空調設備のフロンガスが該当します。 2021年1月から12月の弊社事業活動で産業廃棄物として搬出されたエアコンの冷媒（フロンガス）は100%回収しています。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		社用車洗車時の汚水が流れ込む排水側溝で、二価鉄イオン（Fe2+）を用いた水質浄化に取り組んでいます。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		産業廃棄物として排出される金属類を有価物売却しています。 一般廃棄物の紙類は封筒やカレンダー類も含めて再利用し、処分量を抑制しています。											12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	エコアクション21の取り組みにより、事業活動によるCO2排出量を排出量原単位(kg-CO2/百万円)によって管理し、事業発展と環境負荷の削減を両立した経営を行っています。 事業年度毎の削減目標も定め、目標値を上回るCO2排出量をJ-クレジットやFIT非化石証書の購入によりカーボンオフセットしています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	エコアクション21の取り組みにより、上水の使用量を月毎に管理し、漏水に注意するとともに節水を心掛けています。 雨水を貯留し再利用することで上水の使用量を削減しています。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	エコアクション21を取得しています。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	事業年度毎の活動を環境経営レポートとしてWeb上で公開しています。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	太陽光パネルにより弊社事務所の電力の一部を供給しています。 空調の効率化のため、事務所床に断熱材を敷き詰めています。 非化石証書の購入により、再エネ賦課金の負担減少にも寄与しています。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	工事看板に高知県産木材を使用しています。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	地産地消を心掛けており、生鮮食品や賞味期限の短い製品は特に高知県産製品を優先購入しています。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		どのような行為が汚職・贈収賄となるのか社員間で共有し、事業者が守るべきコンプライアンスを遵守するよう徹底しています。															16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		どのような行為が公正な競争を妨げるのか社員間で共有し、事業者が守るべきコンプライアンスを遵守するよう徹底しています。															16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		【予定】知的財産権（特許権、意匠権、商標権等）についての学習を社員間で行う予定です。								8.2 8.3	9							
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		個人情報を扱う文書はシュレッダーで破砕して処分しています。 電子的な個人情報は外部への漏洩防止のため、パスワードによってファイルを管理しています。															16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	児童就労や劣悪な採掘環境などの人権侵害、採掘地域での環境汚染を防止するため、金融規制改革法に定められた錫、タンタル、タングステン、金について、必要な場合は責任ある鉱物調達を行います。															16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	事業で関わりを持つ取引先企業の企業情報を把握し、企業コンプライアンスを遵守し、環境負荷削減に寄与していることを確認しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		電気設備及び機械設備の設置後にユーザーが使用する際の扱いやすさを重視し、誤作動時や故障時の修繕も行っています。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		工事成果物を丁寧に仕上げると同時に、品質管理により施工途中でも仕上がりのばらつきが最小となるよう業務に取り組んでいます。									9							

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		事務用品ではエコマーク品を優先購入し、工事用資材では認定リサイクル製品が使用できる場合に優先購入しています。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	自社の内装や机、本棚には高知県内産木材を使用しています。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	竹炭の製造及び農地施用による炭素の固定化をCO2排出量削減のためのJ-クレジット創出として事業化を試みています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		建築物に伴う電気設備及び機械設備は社会生活に必須であり、今後も省エネルギー化と再生可能エネルギー導入により技術革新が進むことが予想されるため、弊社はそうした設備を設置し、維持管理する役目を果たしていきます。 2021年1月から12月の弊社事業活動では198件の工事を受注し、8816万円の売上高を得ています。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	弊社周辺の道路の清掃や舗装の修繕等のボランティア活動に加え、UNHCRや公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団等の団体へ寄付を行っています。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	高知県産資材を優先して工事に用いています。 高知県産のオーガニック製品(有機ショウガジンジャーエール)を購入しています。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		いかなる場合も法令に違反する行為をしないように、社員間で意識を共有しています。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		環境負荷低減と事業の持続的な発展を両立した環境経営方針を社員間で共有し、達成目標を定めて事業を実施しています。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		エコアクション21の活動を通して、CO2排出量や廃棄物搬出量、水使用量を管理し、これらを削減していく事業活動を行っています。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		公共工事における発注者と、工事着手前に懸念される資材調達の遅れや、現場施工時に設計図面と現地に差異がある場合など、工事目的物を適正に作成するための協議を行っています。 資材メーカーなどの企業とメールや電話で双方向のコミュニケーションをとっています。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	建設業法や建設リサイクル法、労働安全衛生法など、関連法規をすぐに参照できるようにしています。 必要な場合はプリントアウトして、実際の業務にどのように関わるか具体例を示して情報共有しています。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	事業活動は公共工事の発注規模に影響を受けやすいため、第四四半期の1月上旬から3月末にかけては社員の労働環境と健康状態に特に注意して、スケジュール調整を行っています。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	高知県西部の電気設備の維持管理、修繕を依頼により行っています。 電気設備が伴う水道設備や火災報知設備の保守点検業務も行っています。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	エコアクション21の取り組みの一環として、火災時、地震時の緊急訓練をそれぞれ年1回実施しています。 大雨が予想される前に道路側溝、排水側溝の清掃を行うことで道路の冠水を防いでいます。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	後進者の育成、技術継承を行っています。								8	9								17
持続可能な社会	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		地震、津波、浸水、土砂災害等のハザードマップを確認し、弊社周辺でどの場所にどんな危険があるか、また緊急避難所はどこにあるかを情報共有しています。 緊急時の備蓄を会社資材室に保管しています。				4							11.5		13.1			16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・地方創生	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	弊社最寄りの地震時の緊急避難場所への避難道の維持管理、整備を適宜行っています。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	【予定】弊社のエコアクション21の取り組みをSDGsと関連付け、社員の意識向上を目指します。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	【予定】事業の発展に応じて、地元の人材を採用する企業風土を作っていきます。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	高知県西部の空き家対策事業の電気設備改修工事に携わっています。								8	9		11						